

平成25年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月6日

上場取引所 大

上場会社名 協立電機株式会社

コード番号 6874 URL <http://www.kdwan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西 雅寛

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長

(氏名) 中木 照雄

TEL 054-288-8888

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第1四半期の連結業績(平成24年7月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第1四半期	7,239	9.9	246	106.6	297	149.2	150	138.5
24年6月期第1四半期	6,590	21.5	119	89.7	119	61.1	63	106.8

(注) 包括利益 25年6月期第1四半期 154百万円 (202.4%) 24年6月期第1四半期 51百万円 (128.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第1四半期	38.09	—
24年6月期第1四半期	15.90	—

(注) 当社は平成24年7月1日付をもって、普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割しております。なお、1株当たり四半期純利益は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
25年6月期第1四半期	21,102		6,637		30.3	
24年6月期	19,476		6,570		32.5	

(参考) 自己資本 25年6月期第1四半期 6,394百万円 24年6月期 6,337百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	0.00	—	27.50	27.50
25年6月期	—	—	—	—	—
25年6月期(予想)	—	0.00	—	27.50	27.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は平成24年7月1日付をもって、普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割しております。

3. 平成25年6月期の連結業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,500	3.1	350	24.9	400	19.5	160	10.0	40.51
通期	28,000	4.2	800	38.6	900	30.7	500	67.4	126.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料P4「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P4「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年6月期1Q	4,369,200 株	24年6月期	4,369,200 株
25年6月期1Q	419,265 株	24年6月期	425,959 株
25年6月期1Q	3,948,502 株	24年6月期1Q	3,964,841 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は平成24年6月30日現在の株主に対し平成24年7月1日付をもって、普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割しております。平成24年6月期の期末発行済株式数、期末自己株式数及び平成24年6月期第1四半期の期中平均株式数(四半期累計)は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、欧州経済不安、中国経済の減速、米国経済の緩慢な回復等世界経済停滞の影響を強く受けている状況下、製造業の海外移転がさらに一層加速し、国内の新規製造設備、能力増強のための設備投資に盛り上がりが見られる状況が継続し、エコカー補助金等により輸送機業界が比較的好調を維持していたものの、当第1四半期末にかけて、エコカー補助金も打ち切られた上に日中関係悪化の経済への悪影響が心配される等、様々な不安要素を抱えた状態で推移しました。

当社グループとしましては、斯様なビジネス環境下においても、この10余年にて構築した中国、東南アジアを中心とした海外ネットワークをフルに活かし、我が国製造業の海外への製造拠点移管により発生する新たな設備投資需要を確実に取り入れたのに加え、半導体基板検査装置等の自社製品の販売も好調であったため、業績を大きく拡大することができました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は72億39百万円(前年同四半期比9.9%の増)となり、損益面としましては、営業利益が2億46百万円(同2.1倍)、経常利益が2億97百万円(同2.5倍)、四半期純利益が1億50百万円(同2.4倍)となりました。

なお、当社グループのセグメント別概況は次の通りです。

<インテリジェントFAシステム事業>

インテリジェントFAシステム事業では、海外向けを中心に新規設備投資需要が旺盛であったこと、半導体基板検査装置等での自社製品の売行きが好調であったこと等の要因により、大きく業績を伸ばしました。

以上の結果、インテリジェントFAシステム事業の当第1四半期連結累計期間における売上高は30億66百万円(前年同四半期比28.5%の増)、営業利益は1億12百万円(同7.5倍)となりました。

<IT制御・科学測定事業>

当事業のうちIT制御は主として製造業の合理化・研究開発の自動化等を目的とした設備投資の対象であるため、比較的景況の影響を受け易い傾向があります。一方、当事業でも科学測定分野は科学分析・計測機器等に代表される企業の新製品開発を目的とする部門や品質管理部門を対象とするため、景気の動向に左右されにくく安定的な分野であります。当第1四半期連結累計期間においては国内景気の停滞を受けた分野もありましたが、メカトロニクスや測定機器、バルブ等のアクチュエーターを取り扱う子会社群が好調に推移しました。

以上の結果、IT制御・科学測定事業の当第1四半期連結累計期間における売上高は41億55百万円(前年同四半期比0.7%の減)、営業利益は2億4百万円(同23.1%の増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産の合計額は211億2百万円で、前連結会計年度末に比べ16億25百万円の増加となりました。これは主として取引伸張により受取手形及び売掛金が5億56百万円増加し、商品及び製品が1億72百万円増加したこと、現金及び預金が4億5百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては負債の合計額が144億64百万円で、前連結会計年度末に比べ15億57百万円増加しました。これは主として短期借入金が増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては純資産の合計額が66億37百万円で、前連結会計年度末に比べ67百万円増加しました。これは主として四半期純利益が1億50百万円あり、配当実施による減少を差し引いても利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現下の世界主要国の経済情勢は、欧州経済においては南欧諸国の金融不安問題は小康状態を保っているものの根本的な解決への道筋は見えておらず、大統領選挙や財政の崖等の問題を抱えた米国経済も現下の見通しは不確実性が高く、またこのところ減速傾向が顕著になりつつある中国経済も、政権交代という政治的なビッグイベントが待ち受けていることもあり、今後の経済見通しは不透明な情勢であります。

一方我が国経済の足元は、東日本大震災からの復興を契機とした緩やかな回復過程にありましたが、世界経済の停滞や長引く円高、さらに中国ビジネスに伴うリスクの高まり等を原因として減速傾向を強めており、現況は踊り場の状況にあると認識しておりますが、このまま腰折れする可能性もなしとはしません。

斯様な環境下、当社グループは国内製造業の海外移転に対して、海外子会社ネットワークをフルに活かして、新たに発生する新規需要を積極的に取り込んでまいりましたが、とりわけ、従来最も力を入れてきたタイを中心としたASEAN諸国は他の主要国と比べ、比較的落込みが少なく最も好調であることから、今後とも大きな業績拡大への貢献が期待できます。

さらに、国内においてもスマートグリッド技術に当社グループが得意とするインテリジェントFA技術を融合させた省エネ・省電力を目指す新製品「グリッド・グリーン」や最新鋭の画像技術を駆使した半導体基板検査装置の新製品等が発売開始から好評を得ており、今後大きく販売を拡大し、業績拡大に大きく寄与すると考えております。

従って平成25年6月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成24年8月10日の決算短信にて発表の連結業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更に伴う当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	681,081	1,087,063
受取手形及び売掛金	9,479,683	10,035,976
有価証券	300,009	359,339
商品及び製品	317,112	489,494
仕掛品	367,182	432,346
原材料	559,739	656,759
その他	382,236	488,708
貸倒引当金	△105,132	△109,451
流動資産合計	11,981,913	13,440,238
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,261,131	4,261,131
その他(純額)	918,097	916,718
有形固定資産合計	5,179,229	5,177,849
無形固定資産		
	74,245	73,400
投資その他の資産		
投資有価証券	1,721,352	1,764,659
その他	606,341	732,987
貸倒引当金	△86,426	△87,086
投資その他の資産合計	2,241,266	2,410,560
固定資産合計	7,494,742	7,661,811
資産合計	19,476,655	21,102,049
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,083,501	7,350,049
短期借入金	3,900,000	5,400,000
1年内返済予定の長期借入金	25,397	25,705
未払法人税等	287,222	130,184
賞与引当金	105,772	225,774
役員賞与引当金	44,110	—
その他	702,159	590,439
流動負債合計	12,148,162	13,722,152
固定負債		
長期借入金	80,017	71,489
退職給付引当金	122,298	124,572
負ののれん	7,268	6,359
その他	548,777	539,936
固定負債合計	758,362	742,358
負債合計	12,906,525	14,464,511

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,440	1,441,440
資本剰余金	1,830,491	1,830,491
利益剰余金	3,790,528	3,850,753
自己株式	△510,845	△502,817
株主資本合計	6,551,614	6,619,867
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△214,017	△225,004
その他の包括利益累計額合計	△214,017	△225,004
少数株主持分	232,532	242,675
純資産合計	6,570,129	6,637,538
負債純資産合計	19,476,655	21,102,049

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
売上高	6,590,103	7,239,364
売上原価	5,671,394	6,181,924
売上総利益	918,709	1,057,440
販売費及び一般管理費	799,373	810,927
営業利益	119,336	246,512
営業外収益		
受取利息	1,373	1,831
受取配当金	547	1,740
仕入割引	8,583	8,933
持分法による投資利益	3,199	7,161
負ののれん償却額	908	908
助成金収入	—	29,200
雑収入	3,055	11,682
営業外収益合計	17,667	61,458
営業外費用		
支払利息	5,710	5,722
手形売却損	1,438	405
売上割引	833	894
為替差損	9,498	3,711
雑損失	250	—
営業外費用合計	17,731	10,734
経常利益	119,271	297,237
特別利益		
固定資産売却益	—	52
投資有価証券売却益	123	2,835
債務免除益	11,000	—
負ののれん発生益	1,292	—
特別利益合計	12,416	2,888
特別損失		
固定資産除却損	531	6,496
固定資産売却損	—	45
投資有価証券評価損	—	5,920
その他	—	14
特別損失合計	531	12,476
税金等調整前四半期純利益	131,155	287,649
法人税等	56,957	116,462
少数株主損益調整前四半期純利益	74,198	171,187
少数株主利益	11,145	20,791
四半期純利益	63,052	150,395

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	74,198	171,187
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22,986	△16,537
持分法適用会社に対する持分相当額	△66	11
その他の包括利益合計	△23,052	△16,526
四半期包括利益	51,145	154,660
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	49,445	139,408
少数株主に係る四半期包括利益	1,700	15,252

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,386,077	4,184,886	6,570,963	19,140	6,590,103
セグメント間の内部売上高又は振替高	11,147	14,811	25,959	14,989	40,948
計	2,397,224	4,199,698	6,596,923	34,129	6,631,052
セグメント利益	15,112	165,740	180,853	19,713	200,566

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	180,853
「その他」の区分の利益	19,713
全社費用(注)	△81,230
四半期連結損益計算書の営業利益	119,336

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,066,719	4,155,973	7,222,692	16,672	7,239,364
セグメント間の内部売上高又は振替高	21,618	18,744	40,362	14,560	54,922
計	3,088,337	4,174,717	7,263,054	31,232	7,294,287
セグメント利益	112,605	204,005	316,610	21,181	337,792

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	316,610
「その他」の区分の利益	21,181
全社費用(注)	△91,279
四半期連結損益計算書の営業利益	246,512

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。